

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成27年2月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 27 年 2 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表－1 に、調査地点の位置は図－1 に示すとおりである。

表－1 事後調査の概要（平成 27 年 2 月）

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 表-1(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	2月1日～28日	通年連続

(2) 水質（一般項目）表-1(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	2月16日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

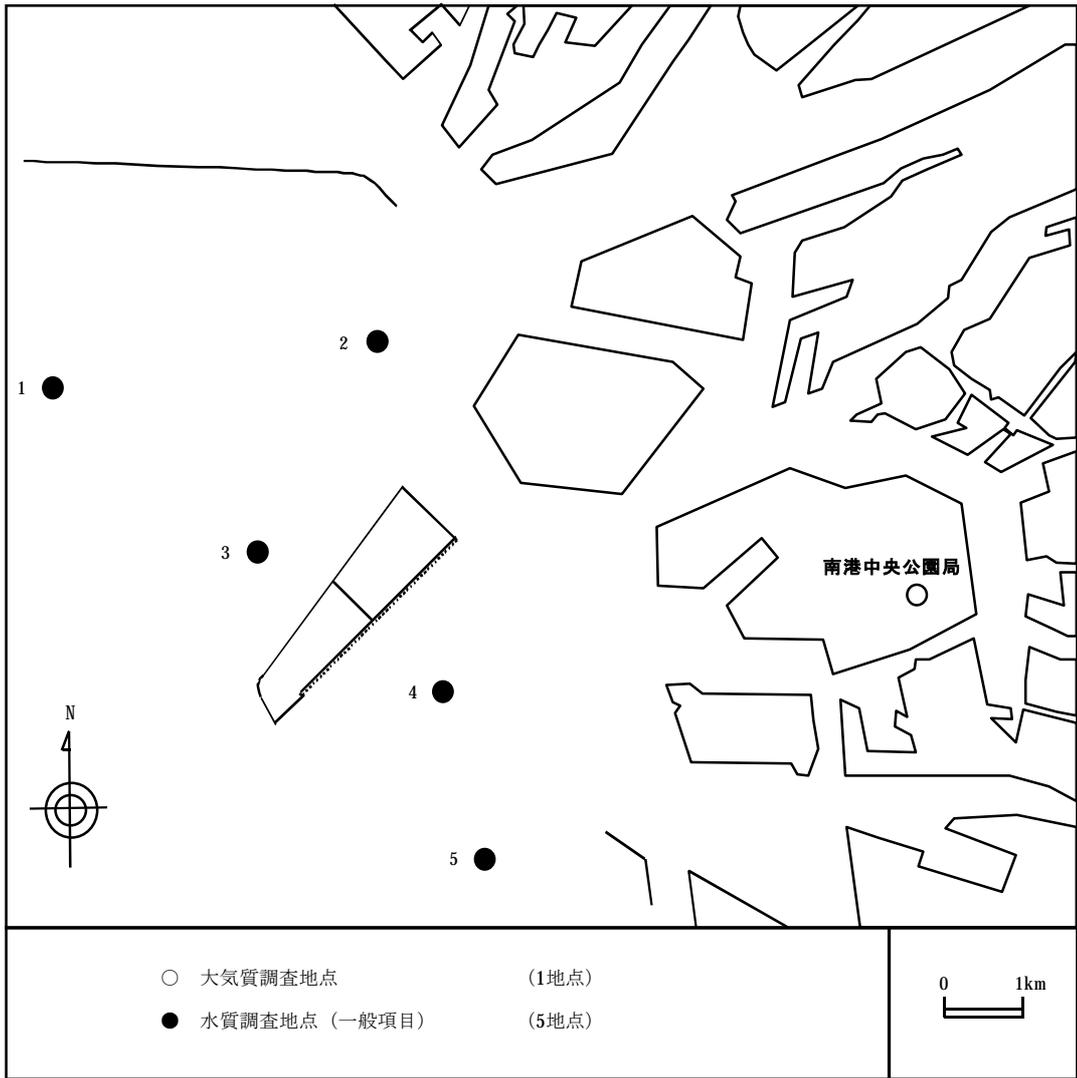
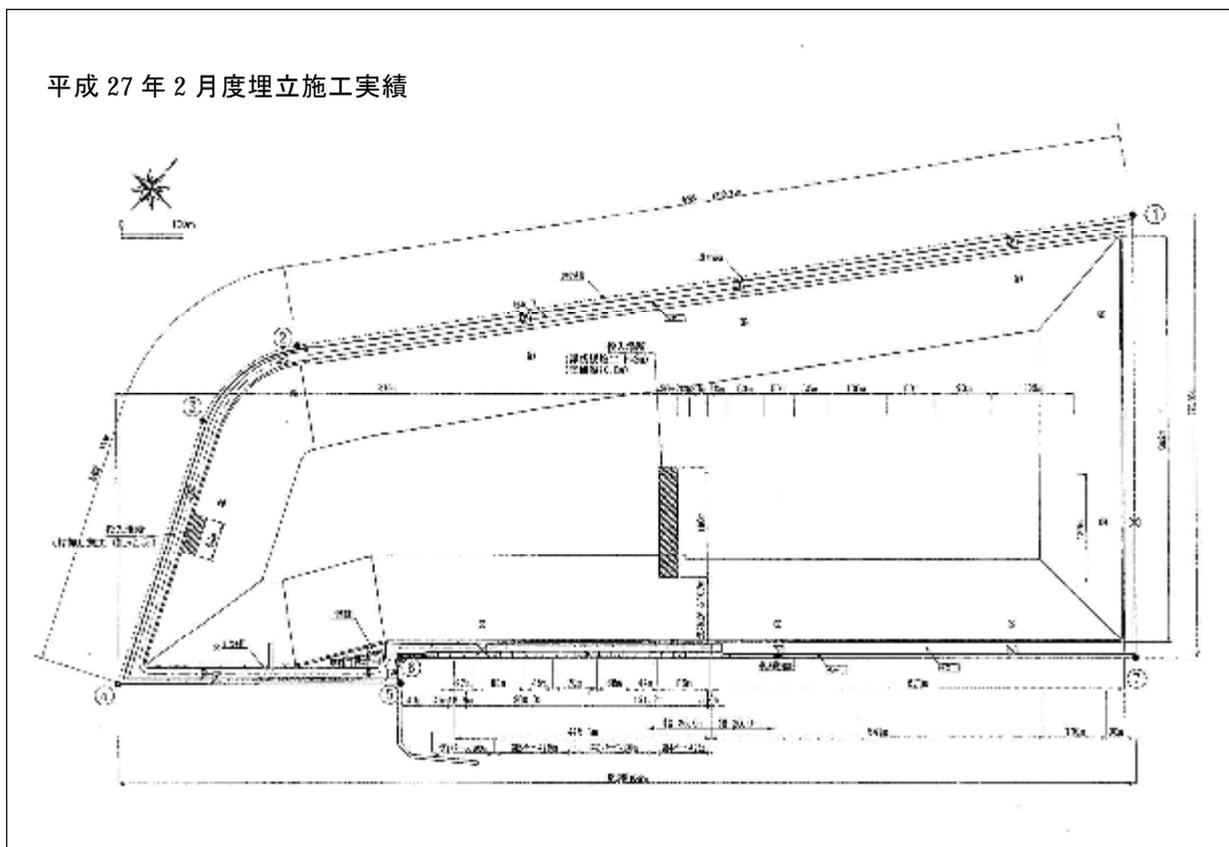


図-1 大気質、水質(一般項目)の調査地点 (平成 27 年 2 月)

2. 工事の実施状況

平成 27 年 2 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。

大阪沖処分場平面図



埋立量(m ³)	進捗率(%)
3,103,395	22.2

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (平成 27 年 2 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】

二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、**0.006ppm**であった。また、日平均値の最高値は**0.008ppm**、1時間値の最高値は**0.019ppm**であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、**0.024ppm**であった。また、日平均値の最高値は**0.045ppm**であり、環境基準の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、**0.030mg/m³**であった。また、日平均値の最高値は**0.074mg/m³**、1時間値の最高値は**0.099mg/m³**であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質（一般項目） [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で**8.4～8.6**、下層で**8.1～8.2**の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値の範囲を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を上回った調査結果は、上層における調査地点**1 (8.4)**、調査地点**2 (8.4)**、調査地点**3 (8.4)**、調査地点**4 (8.6)**、調査地点**5 (8.5)**であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成12年度）では上層で**7.7～8.6**であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で**2.2～4.4mg/L**、下層で**1.6～1.9mg/L**の範囲にあり、上層では調査地点**4**において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点**4 (4.4mg/L)**であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成12年度）は上層で**1.6～4.9mg/L**であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で**11～12mg/L**、下層で**8.0～8.5mg/L**の範囲にあり、上層、下層ともに全ての調査地点で環境基準値を満たしていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で **0.42~0.94mg/L**、下層で **0.24~0.31mg/L** の範囲にあり、上層では調査地点 **1、2、4** において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 **1 (0.68mg/L)**、調査地点 **2 (0.70mg/L)**、調査地点 **4 (0.94mg/L)** であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 **12** 年度) は上層で **0.46~2.1mg/L** であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で **0.029~0.055mg/L**、下層で **0.022~0.028mg/L** の範囲にあり、上層では調査地点 **2、4** において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 **2 (0.055mg/L)**、調査地点 **4 (0.053mg/L)** であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 **12** 年度) は上層で **0.021~0.15mg/L** であり、いずれもこの範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で **1.5~8.4 度(カリン)**、下層で **1.4~2.5 度(カリン)** の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で **2~4mg/L**、下層で **3~4mg/L** の範囲であった。

8) コロフィル a

コロフィル a は上層で **1.0~3.7 μ g/L**、下層で **0.5~1.5 μ g/L** の範囲であった。

《 参 考 》

■環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m³ 以下であること。

(2) 水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全磷 (T-P)	0.05mg/L 以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が **75%**以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「**75% 水質値**」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ **0.75×n** 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって **75%水質値（0.75×n 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）**とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち **75%**以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

区 分 項 目		事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1~5)	
		最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ~ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ~ 4.9 (34/60)	3.2 ~ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ~ 3.6 (4/60)	2.0 ~ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ~ 14 (0/60)	8.6 ~ 9.8
	下層	0.6 ~ 11 (14/60)	6.2 ~ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ~ 2.1	0.91 ~ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ~ 0.82	0.44 ~ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ~ 0.15	0.061 ~ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ~ 0.25	0.038 ~ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大~最小」の値は、調査地点 1~5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m: 環境基準を満たしていないデータ数、n: 総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小~最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小~最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表 [平成27年2月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	28
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	670
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	28
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	2
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	668
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	28
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	666
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [平成27年2月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (日)	0.003	0.006
	2 (月)	0.004	0.006
	3 (火)	0.004	0.005
	4 (水)	0.005	0.010
	5 (木)	0.005	0.008
	6 (金)	0.003	0.005
	7 (土)	0.007	0.012
	8 (日)	0.006	0.012
	9 (月)	0.003	0.006
	10 (火)	0.006	0.009
別	11 (水)	0.008	0.013
	12 (木)	0.008	0.013
	13 (金)	0.004	0.005
	14 (土)	0.007	0.012
	15 (日)	0.007	0.011
	16 (月)	0.007	0.016
	17 (火)	0.006	0.012
	18 (水)	0.004	0.005
	19 (木)	0.003	0.004
	20 (金)	0.004	0.009
値	21 (土)	0.006	0.014
	22 (日)	0.004	0.008
	23 (月)	0.008	0.011
	24 (火)	0.008	0.016
	25 (水)	0.008	0.019
	26 (木)	0.005	0.007
	27 (金)	0.006	0.009
	28 (土)	0.006	0.013
有効測定日数 (日)		28	
測定時間 (時間)		670	
月平均値 (ppm)		0.006	
日平均値の最高値 (ppm)		0.008	
1時間値の最高値 (ppm)		0.019	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [平成27年2月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (日)	0.001	0.002
	2 (月)	0.004	0.016
	3 (火)	0.004	0.012
	4 (水)	0.021	0.176
	5 (木)	0.004	0.015
	6 (金)	0.003	0.011
	7 (土)	0.024	0.128
	8 (日)	0.010	0.026
	9 (月)	0.003	0.006
	10 (火)	0.003	0.009
別	11 (水)	0.002	0.016
	12 (木)	0.038	0.223
	13 (金)	0.003	0.008
	14 (土)	0.002	0.008
	15 (日)	0.001	0.003
	16 (月)	0.018	0.077
	17 (火)	0.013	0.047
	18 (水)	0.003	0.012
	19 (木)	0.003	0.007
	20 (金)	0.004	0.010
値	21 (土)	0.017	0.117
	22 (日)	0.005	0.013
	23 (月)	0.008	0.029
	24 (火)	0.019	0.066
	25 (水)	0.023	0.092
	26 (木)	0.028	0.068
	27 (金)	0.003	0.014
	28 (土)	0.002	0.004
有効測定日数 (日)		28	
測定時間 (時間)		668	
月平均値 (ppm)		0.010	
日平均値の最高値 (ppm)		0.038	
1時間値の最高値 (ppm)		0.223	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [平成27年2月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (日)	0.006	0.012
	2 (月)	0.018	0.036
	3 (火)	0.019	0.037
	4 (水)	0.031	0.062
	5 (木)	0.022	0.041
	6 (金)	0.019	0.036
	7 (土)	0.037	0.053
	8 (日)	0.024	0.056
	9 (月)	0.010	0.018
	10 (火)	0.014	0.025
別	11 (水)	0.016	0.039
	12 (木)	0.036	0.068
	13 (金)	0.013	0.029
	14 (土)	0.016	0.032
	15 (日)	0.014	0.023
	16 (月)	0.038	0.070
	17 (火)	0.037	0.049
	18 (水)	0.017	0.034
	19 (木)	0.015	0.025
	20 (金)	0.018	0.034
値	21 (土)	0.038	0.055
	22 (日)	0.028	0.040
	23 (月)	0.028	0.039
	24 (火)	0.039	0.054
	25 (水)	0.045	0.061
	26 (木)	0.040	0.051
	27 (金)	0.019	0.036
	28 (土)	0.017	0.034
有効測定日数 (日)		28	
測定時間 (時間)		668	
月平均値 (ppm)		0.024	
日平均値の最高値 (ppm)		0.045	
1時間値の最高値 (ppm)		0.070	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		2	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [平成 27 年 2 月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ng/m^3)	1 時間値の 最高値 (ng/m^3)
日	1 (日)	0.014	0.032
	2 (月)	0.013	0.026
	3 (火)	0.015	0.027
	4 (水)	0.021	0.039
	5 (木)	0.026	0.040
	6 (金)	0.013	0.024
	7 (土)	0.027	0.051
	8 (日)	0.032	0.061
	9 (月)	0.013	0.025
	10 (火)	0.024	0.036
別	11 (水)	0.037	0.065
	12 (木)	0.042	0.063
	13 (金)	0.013	0.027
	14 (土)	0.020	0.041
	15 (日)	0.035	0.083
	16 (月)	0.027	0.046
	17 (火)	0.041	0.064
	18 (水)	0.025	0.049
	19 (木)	0.018	0.040
	20 (金)	0.021	0.036
値	21 (土)	0.029	0.045
	22 (日)	0.031	0.065
	23 (月)	0.045	0.075
	24 (火)	0.069	0.099
	25 (水)	0.074	0.091
	26 (木)	0.050	0.075
	27 (金)	0.033	0.075
	28 (土)	0.027	0.051
有効測定日数 (日)		28	
測定時間 (時間)		666	
月平均値 (ng/m^3)		0.030	
日平均値の最高値 (ng/m^3)		0.074	
1時間値の最高値 (ng/m^3)		0.099	
1時間値が $0.20\text{ng}/\text{m}^3$ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が $0.10\text{ng}/\text{m}^3$ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成27年2月分]

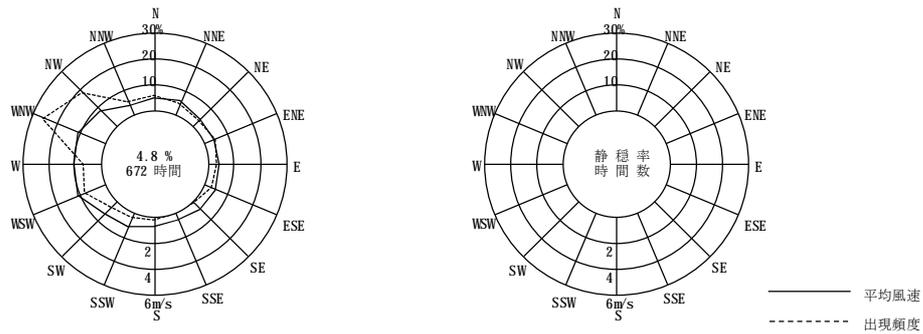
項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	33	22	32	24	21	4	3	8	11	19	54	43	169	122	35	40	32	672
頻度 (%)	4.9	3.3	4.8	3.6	3.1	0.6	0.4	1.2	1.6	2.8	8.0	6.4	25.1	18.2	5.2	6.0	4.8	-
平均風速 (m/s)	1.2	0.8	0.9	0.9	1.0	0.9	0.6	0.7	1.1	1.3	2.2	2.0	2.2	1.7	0.8	1.0	0.2	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局:南港中央公園局

風向風速計高さ:14.2m

凡例



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成27年2月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[平成27年2月分]

調査日：平成27年2月16日

調査点		1	2	3	4	5	最小値 ~ 最大値	平均値
項目								
時刻		11:08	10:49	10:33	10:00	9:44	—	—
透明度	[m]	5.0	4.3	5.5	1.6	3.8	1.6 ~ 5.5	4.0
水温	[°C]	9.3	9.4	8.8	8.6	8.3	8.3 ~ 9.4	8.9
		9.8	9.8	9.8	9.8	9.9	9.8 ~ 9.9	9.8
塩分	[—]	28.00	26.37	28.47	27.93	28.60	26.37 ~ 28.60	27.87
		31.69	31.61	31.62	31.65	31.65	31.61 ~ 31.69	31.64
濁度	[度(カリン)]	1.9	2.1	1.5	8.4	1.6	1.5 ~ 8.4	3.1
		2.2	2.3	1.4	2.5	1.8	1.4 ~ 2.5	2.0
浮遊物質量 (SS)	[mg/L]	2	2	2	4	2	2 ~ 4	2
		3	3	3	4	3	3 ~ 4	3
水素イオン濃度 (pH)	[—]	8.4	8.4	8.4	8.6	8.5	8.4 ~ 8.6	-
		8.2	8.2	8.2	8.2	8.1	8.1 ~ 8.2	-
化学的酸素要求量 (COD)	[mg/L]	2.2	2.5	2.3	4.4	2.5	2.2 ~ 4.4	2.8
		1.7	1.9	1.7	1.8	1.6	1.6 ~ 1.9	1.7
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	11	11	11	12	11	11 ~ 12	11
		8.3	8.1	8.5	8.1	8.0	8.0 ~ 8.5	8.2
	飽和度 [%]	116	122	121	128	120	116 ~ 128	121
		90	87	92	87	87	87 ~ 92	89
全窒素 (T-N)	[mg/L]	0.68	0.70	0.50	0.94	0.42	0.42 ~ 0.94	0.65
		0.24	0.28	0.24	0.31	0.24	0.24 ~ 0.31	0.26
全磷 (T-P)	[mg/L]	0.050	0.055	0.037	0.053	0.029	0.029 ~ 0.055	0.045
		0.023	0.022	0.022	0.028	0.027	0.022 ~ 0.028	0.024
クロロフィル a (chl. a)	[μg/L]	1.0	2.1	1.1	1.2	3.7	1.0 ~ 3.7	1.8
		1.5	0.5	0.6	1.1	0.8	0.5 ~ 1.5	0.9

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
